

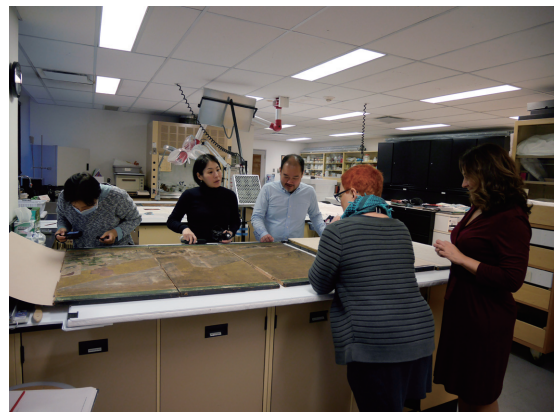
在外日本古美術品保存修復協力事業 (コ04)

目的 日本の文化財は欧米を中心に海外でも多く所蔵されている。しかし、日本の文化財の保存修復専門家は海外にほとんどおらず、多くの博物館などで適切な処置に窮している。そこで、本事業では海外で所蔵されている日本の文化財のうち絵画作品及び漆工芸品の保存修復に関する助言等の協力を行う。また本格的な修復が必要な作品に関しては日本で修復して返還する。さらに、作品の性状に応じて保存修復方法に関する研究を行い、結果を公開、共有する。

- 成果**
1. 作品修復を行った。
 - ア) ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア (オーストラリア) 所蔵 佐々木泉玄筆「般若図」1幅
以上、修復完了
 - イ) ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア (オーストラリア) 所蔵 「親鸞聖人絵伝」4幅
 - ウ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵 鈴木其一筆「八橋図・檜図」6曲1双
 - エ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵 曾我蕭白筆「太公望図・林和靖図」2幅
 - オ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵 雲谷等顔筆「煙寺晚鐘図・平沙落雁図」2幅
以上4件、修復中
 2. 調査を行った。
モントリオール美術館 (カナダ)、日本絵画の調査 (2018 (平成30) 年11月26日～28日)
 3. 研究を行った。
上記作品修復のための修復技法及び材料に関する基礎研究



絵画作品修復



調査風景 (カナダ)

- 発表**・小田桃子ほか：「クラクフ国立博物館所蔵 狩野董川中信筆『月下秋景図』(絹本着色 掛軸装) 修復事例報告」文化財保存修復学会第40回大会 18.6.17
- ・元喜載ほか：「日本絵画の裏彩色に対する剥落止め用いる膠水溶液濃度の検討」文化財保存修復学会第40回大会 18.6.17
- 刊行物**・『在外日本古美術品保存修復協力事業 遊女と禿図 No.2015-1 修復報告』東京文化財研究所 19.3
- ・『在外日本古美術品保存修復協力事業 瀑布溪流図 No.2015-3 修復報告』東京文化財研究所 19.3 ほか2件

研究組織 ○加藤雅人、中山俊介、元喜載、小田桃子(以上、文化遺産国際協力センター)、江村知子、安永拓世、米沢玲(以上、文化財情報資料部)、三本松俊徳、小田切真梨(以上、研究支援推進部)、藤井佑果(保存科学センター)、杉山恵助(客員研究員)